

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2015年7月 相談集計報告

○全体の特徴

■前年同月に比べ全体の相談件数は増加した。女性からの相談が前年同月に比べ99件、6.4ポイント増加し、年代別では50代からの相談が2.9ポイント増加した。

■雇用形態別ではパート、アルバイト、派遣社員からの相談が増加している。業種別では「医療・福祉」従事者からの相談が前々月、前月と同様に最も多くなっている。相談内容では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」に関する相談が依然として多く、4ヶ月連続1位となっている。

■具体的な相談内容では、「会社の経営状態の悪化から退職勧奨を受けた。退職金を出すとのことだったため退職を受け入れたが、後々になって退職金はないと言われた」「長時間労働と過剰なノルマで体調不良が続いているため退職を申し出たが、認めてもらえない」「退職を申し出たら、会社から求人広告料と事務手数料、数万円を請求された」など、退職関係に悩む方からの相談が多数寄せられた。

		2015年		2014年			
集計対象期間		7月1日～7月31日		7月1日～7月31日			
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		1,267		1,174			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	630	50.6%	男性	686	57.0%	
	女性	616	49.4%	女性	517	43.0%	
年代 (不明除く)	10代	12	1.3%	10代	9	0.9%	
	20代	126	13.3%	20代	140	14.6%	
	30代	201	21.3%	30代	217	22.7%	
	40代	303	32.1%	40代	308	32.2%	
	50代	207	21.9%	50代	182	19.0%	
	60代	78	8.3%	60代	88	9.2%	
	70代	17	1.8%	70代	12	1.3%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	584	50.3%	正社員	654	56.3%	
	パート	202	17.4%	パート	167	14.4%	
	アルバイト	82	7.1%	アルバイト	62	5.3%	
	派遣社員	78	6.7%	派遣社員	70	6.0%	
	契約社員	103	8.9%	契約社員	108	9.3%	
	嘱託社員	6	0.5%	嘱託社員	11	0.9%	
	臨時・非常勤職員	7	0.6%	臨時・非常勤職員	7	0.6%	
	その他	99	8.5%	その他	83	7.1%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	144	16.7%	製造業	159	17.9%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	135	15.6%	サービス業(他に分類されないもの)	136	15.3%
	3位	製造業	119	13.8%	医療・福祉	135	15.2%
	4位	卸売・小売業	110	12.7%	卸売・小売業	94	10.6%
	5位	運輸業	86	10.0%	運輸業	88	9.9%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	161	12.7%	解雇・退職強要・契約打切	162	14.5%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	118	9.3%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	145	13.0%
	3位	退職金・退職手続	104	8.2%	雇用契約・就業規則	92	8.2%
	4位	雇用契約・就業規則	103	8.1%	退職金・退職手続	72	6.4%
	5位	不払い残業・休日手当・割増賃金未払	63	5.0%	不払い残業・休日手当・割増賃金未払	64	5.7%